

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
安全・安心・安らぎのまちづくり	自立支援の促進と健康で暮らせるまちづくり	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の健康と体力維持の向上</li> <li>高齢者と地域の親睦の推進</li> <li>地域行事への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>百歳体操、いきいきサロン等へ参加する人がほとんど固定しており人数が増えない。</li> <li>高齢者と地域、高齢者同士の親睦の機会が少ない。</li> <li>地域住民との交流機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧板を利用して毎月、サロンの内容と健康講座等の内容を周知している。</li> <li>民生委員の巡回時に百歳体操、サロンへ参加の勧誘をしている。</li> <li>ささえりあ白川が発行する、ささえりあ白川だよりを利用して介護相談会、無料健康測定会への参加を呼びかけている。</li> <li>小学校行事へ高齢者の積極的な参加について青少年育成協議会、民児協との協力を図っている。</li> <li>体操教室（ハッピー白川）の開催</li> <li>校区で開催される行事について、高齢者が参加できる機会と場所を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区内全世帯への回覧板周知を各町内会長へ依頼している。（2ヶ月に1回開催される自治連合会で依頼）</li> <li>すこやか健康教室の開催</li> <li>敬老の日に合わせて、白川小学校児童全員によるお祝いの手紙作成、お祝いの品に添えて贈呈している。（各町内自治会、子ども会、民児協）</li> <li>小学校の花づくり活動、町内対抗グラウンドゴルフ等</li> <li>町内対抗運動会、ふれあい秋まつり、地蔵まつり</li> <li>敬老の集い開催 九品寺地区 新屋敷地区</li> <li>日帰り旅行の検討</li> </ul>
		障がい児・者	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、児に接する機会が少ない。</li> <li>校区社協で対応する課題ではないとの考え方が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある方との関わりがなく、障がいについての理解がない。</li> <li>障がいのある方の実績がわからない。</li> <li>個人情報に関することが多くかわりを持つことが困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、児については心身、身体の障がい等内容が異なり対応が困難である。</li> <li>一校区で対応できることではなく公的な機関、専門の事業所からの要請に応じて協力していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民児協定例会に障がい者相談支援センターの地域支援員の参加を依頼して今後、校区での取り扱いについて検討している。</li> </ul>
	子育て支援と見守り	子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代への情報提供不足。</li> <li>登下校時の安全確保。</li> <li>学校行事等への参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児を持つ世帯には転勤者が多く子育てつどい等の情報が行き届いていない。</li> <li>保育園への入園待機が緩和されたために子育てのつどいの参加者が減少している。</li> <li>通学路は交通量の多い道路がある。</li> <li>学校、PTA等の情報が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区子育てのつどい（こぐまくらぶ）の毎月内容について回覧板で周知している。（こぐまくらぶ参加者 妊婦 0歳～未就園児と保護者）</li> <li>新入小学生へ黄色い帽子の贈呈（校区社協）</li> <li>地域の行事で子ども会保護者との交流を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣公園へのハイキング</li> <li>クリスマス会</li> <li>恵方巻きづくり（節分鬼たいじ大作戦）</li> <li>交通安全協会と共同</li> <li>地域の運動会、お祭りなどへの参加を呼び掛ける。</li> </ul>
	自分での安全は	災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害には各自が備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急避難の場所が周知不十分。</li> <li>台風、水害については早期避難の徹底。</li> <li>マンションが多く水害についての認識が希薄。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧板により避難場所の周知を図る。</li> <li>校区消防団により早期避難の巡回呼びかけを行う。</li> <li>マンション管理組合に対して、垂直避難について検討を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者の避難については要望があれば校区消防団（熊本市第12分団）の消防車に依頼する。</li> <li>自治協議会におけるハザードマップの周知。</li> </ul>
	体制の確立	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区各種団体の活動内容が不明。</li> <li>民生委員の後継者が不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区社会福祉協議会の名称を知らない人が多い。</li> <li>校区各種団体間の交流がない。</li> <li>仕事を退職する年齢が高齢化している。</li> <li>活動内容について住民の理解がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区社会福祉協議会長を自治連合会員（各町内会長）の中から選出して自治連合会へ情報の周知を図る。</li> <li>町内の各種団体へ参加することによって、民生委員の役割について周知と協力を依頼する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区社会福祉協議会の情報を自治連合会の議題として取り上げて検討する。</li> <li>小学校で開催される地域との交流事業への参加。（世代間交流の場への参加）青少年育成協議会</li> <li>ささえりあ白川との協力関係の確保。</li> </ul>